

病虫害発生予察情報
3月月報

令和7年4月16日
東京都病虫害防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2025 年 3 月	気 温 (℃)						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均					
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
上旬	13.1	0.6	2.2	-0.3	7.3	-0.1	54.5	120.3	46.4	85.1
中旬	14.0	-0.3	5.2	1.6	9.3	0.4	65.0	287.6	48.2	76.6
下旬	20.5	5.4	7.6	2.8	14.1	4.2	15.5	33.8	75.9	122.8
平均	16.0	2.0	5.0	1.3	10.4	1.6				
合計							135.0	118.6	170.5	95.2

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：この期間の天気は、高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で変化した。3 日から 5 日にかけてと 8 日夜には本州の南岸を通過した低気圧の影響で東京では雪が降り、4 日と 5 日は日最深積雪 1 センチを観測した。
期間を通して気温の変動が大きくなった。
東京の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は少なく、旬降水量は多くなった。

中旬：この期間の天気は、周期的に変化した。19 日は、気温が平年よりかなり低く雪がふり雷とひょうを伴った。東京の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は少なく、旬降水量はかなり多くなった。

下旬：この期間は、おおむね高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の終わりは、気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨になった。
期間の始めから中頃は、暖かい空気に覆われ東京では 26 日に 3 月の日最高気温として高いほうから 2 位となる 25.9℃、同じく 28 日には 3 位となる 25.7℃を観測した。一方期間の終わりには、気温のかなり低い日もあり、寒暖の差が大きくなった。
なお、東京では、24 日にさくらの開花（平年と同じ、昨年より 5 日早い）を、30 日に満開（平年より 1 日早く、昨年より 5 日早い）を観測した。また、25 日から 26 日にかけて黄砂を観測した。
東京の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は多く、旬降水量は少なくなった。

2 作物生育概況

（1）野菜類

果菜類：苗類の生育は概ね順調であった。寒暖の影響で一部に寒害や葉焼けが生じた。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウの生育は概ね順調で、やや早まった。ノラボウナの生育はやや遅れた。

根菜類：生育は概ね順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) 野菜の病虫害

トマト（施設・促成長期どり）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並みだった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並みだった。

ホウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並みだった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並みだった。

(3) 島しょの病虫害

特に多発生の病虫害は認められなかった。

4 侵入調査

トマトキバガ < 誘殺なし >

病虫害防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/>

病虫害の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。